



天文台だより

銀河の森天文台
2010 夏号
Vol. 48

第2回 陸別スターライトフェスティバル開催!



天文台は今年12周年を迎え、7月10日(土)に陸別星祭り、「第2回陸別スターライトフェスティバル」を開催します。この日は開館時間を24時まで延長し、来館者が持ち寄った望遠鏡と合わせて賑やかに星空を楽しんでいただきます。

今年の講演会は、身近な「月」についてのお話です。講師のJAXA春山純一さんは月探査機「かぐや」に搭載された地形カメラの主責任研究者を務めていた方です。講演では、かぐやから送られてきた様々なデータから、学会講演会でもなかなか見せる機会が無いものを、月惑星探査のスリルと醍醐味をスパイスにして、紹介していただけるそうです。また、講演会の後には、札幌を拠点に活躍中のグループ「ダルシフィドル」によるアイリッシュミュージックのコンサートも行います。

開催日時: 7月10日(土) 14時~24時

参加方法: 予約不要(入館料のみ)

※陸別町民は無料です!

プログラム

19時 開催挨拶

19時15分~ 講演会

**JAXA 宇宙科学研究所
春山 純一 助教**

『月探査機「かぐや」がみたもの』



20時30分~ コンサート

札幌拠点の音楽グループ
「ダルシフィドル」による
アイリッシュミュージックコンサート



※天体観望会は常時開催

「新館長からのごあいさつ」 上出洋介(牡牛座)



4月1日付けで、当科学館の館長を拝命しました。別に平成21年度町民文芸誌「あかえぞ」に詳しく書きましたように、私は名古屋大学太陽地球環境研究所在職当時から、当館の立ち上げに密接に関わって参りましたし、りくべつ宇宙地球科学館という名称(愛称:銀河の森天文台)も、金澤町長との共同提案によるものです。

名古屋大学を定年退職のあと、「宇宙天気」研究プロジェクトに参画のため京都大学で特任教授として3年間を過ごし、このほど当館の館長を務めることになった次第です。オーロラ・オゾンの観測でオリジナル研究が進行している全国共同利用研究機関と、公共施設である当館が同じ屋根の下に同居するという、世界でも例のないこのユニークな科学館を誇りに思っています。これからは、町サイドから、より発展性のある科学館にしていくために微力を尽くしたいと考えています。たとえば、環境や災害問題など、館の正式名にある「地球」視点の展示にも力を入れていきたいと思っています。

感動と好奇心。この二つは科学することの原点です。科学館とは、学校では教えない「ナマ」の科学要素を体験することにより、宇宙での人間の立場を考えなおす場所だと思います。りくべつ宇宙地球科学館に来て、自然との対話を楽しんでください。新しい企画のアイデアなども大歓迎です。

野口さん、山崎さん、こんにちは! 国際宇宙ステーションを観測!



2010年4月12日 午前3時32分撮影

2010年4月12日、国際宇宙ステーション(ISS)を観測しました。観測時、ISSには日本人宇宙飛行士の野口聡一さんと山崎直子さんが滞在していました。日本人宇宙飛行士がISSに2人同時に滞在したのは初めてです。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	18.7	21:30	8:19
7月 15日	3:54	19:08	3.3	7:58	20:54
8月 1日	4:10	18:52	20.3	21:00	10:13
8月 15日	4:26	18:33	5.0	10:42	20:49
9月 1日	4:45	18:05	22.0	21:17	12:19
9月 15日	5:00	17:40	6.7	12:52	21:49

天文行事&暦

7月

- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 10 陸別スターライトフェスティバル
- 12 ●新月
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)
陸別町民コンサート(午後7時~)
- 26 ○満月

8月

- 9・10, 16 天文台特別開館
- 4-16 天の川と夏の天体観望会
- 7 水星が東方最大離角
(光度:0.4等, 離角:27° 22')
- 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 10 ●新月
- 12・13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(AM9時 最大60個/時)
- 20 金星が東方最大離角
(光度:-4.3等, 離角:45° 58')
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 25 ○満月

9月

- 1-12 木星観望会
- 8 白露(24節気:太陽黄経165°)
●新月
- 20 水星が西方最大離角
(光度:-0.4等, 離角:17° 52')
- 22・23 中秋の名月観望会
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
○満月

夏のイベント情報!!

☆天の川と夏の天体観望会

新月の前後1週間は月明かりの影響が少なく天の川がよく見えます。望遠鏡では夏の天体を観望します。

開催日時: 8月4日(水)~8月16日(月)
説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群が8月13日の午前9時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月12日(木)、13日(金)
説明会: 午後7時30分から

☆木星観望会

今年の木星はうお座の中にあり、9月に見頃となります。望遠鏡で見ると、しま模様がよく見えます。

開催日時: 9月1日(水)~9月12日(日)
説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

天文台日記 一月をながめる

みなさん月は好きですか? 時には煌々と輝き、時には怪しげな色に光る月の姿はやっぱり美しくて見とれてしまいますよね。月はいつも空にあって、いつでも見えるイメージの方も多いようですが、月が見えない日もあります。そんな時「今晚月は見えません」と言うと、とても驚かれたり残念がられたりします。それだけ月を身近に感じている人が多いということですね。中には、毎晩月を眺めては月に向かって愚痴をこぼしているという方もいるようです。夜を明るく照らす月。満ち欠けによって様々な姿に変化する月。道を歩くとついてくるように見える月。声をかけたくなる気持ちかわかる気がします。(榊)



☆中秋の名月観望会

今年中秋の名月は9月22日です。これに合わせて22日、23日に天文台でお月見をします。

開催日時: 9月22日(水)、23日(木)
説明会: 午後7時から



「発見! 銀河の森から」- 白鳥の群れ -

4月下旬、天文台から何気なく双眼鏡で東トマム付近の畑を眺めていると、なにやら白い斑点のようなものがたくさんあるのに気がつきました。よく見るとそれは白鳥の群れで500羽近い白鳥が畑に集まっていました。夕方が沈むと群れは皆飛び去り、朝になると再び同じ畑に集まっていました。近くへ行ってみるとデントコーン畑の跡で、餌がたくさん落ちているのかしきりに地面をついばんでいました。渡りの季節を迎え、一時の休息で羽を休めていたのでしょうか。天文台から白鳥の群れが確認できたのは1週間程で、その後再び北へと渡って行ったようです。(寛)



天文台からのお知らせ

☆ 8月9・10日、16日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp